

環境科学アドバイザー養成講座資料

第五教科資料

【生命の仕組みと健康③】

- 人間は自然生命エネルギーによって生かされている …P2
- 人体の原動力となる生体電磁気エネルギー …P3

付随資料

- ◆ 夢の健康エネルギーをとり入れた生体活性化システム
- ◆ 人間の本質と肉体と心のしくみ
- ◆ 生体エネルギーの流れ

■人間は自然生命エネルギーによって生かしている

肉体も心も生命エネルギーによって活動する

私たちの体は食事しないと動かなくなりますが、心臓や肺は生まれてから死ぬまで片時も休むことなく活躍し、その他の内臓諸器官も本人の意思とは関係なしに動いています。

人間は生命体です。

生命体とは【生体】と呼ばれる肉体組織と、【命体】と呼ばれる命から成り立っています。これが【生命体】と呼ばれる由縁です。

細胞で造られたロボットとしての肉体を動かす原動力が生命エネルギーです。

食べ物は、生まれ変わる全ての細胞を維持し続ける為に体内に摂取され続けます。その消化の過程で生まれる熱エネルギーが手足の運動エネルギーとして使われます。従って長時間食べないでいると、お腹が空いて動けなくなります。さらには、内臓諸器官も機能が失われて死に至ります。

しかし通常、心臓や肺やその他の内臓諸器官を動かしているエネルギーのことを【生命エネルギー】と言います。

この生命エネルギーの量が何れだけ体内にあるかによって、その人の【生命力】が決まります。

人はこの生命力によって内臓の強さや行動力や、感情、創造力、その他感性や精神力まで決まってきます。

では、このエネルギーとは何なのでしょう？

このエネルギーは大自然の中や、生活環境の中に存在しています。

従って、自然破壊や汚染、生活環境の汚染によって人間は生命力を失っていきます。

生命力の低下は免疫力の低下に繋がり癌や病気に侵されやすくなってゆきます。さらには、感情面や精神面にも影響を及ぼしてゆきます。

この生命エネルギーについては事項で解説します。

■ 人体の原動力となる生体電磁気エネルギー

細胞と内臓とチャクラを活動させる自然生命エネルギー

無限の水素元素で満たされた宇宙は緩やかな回転運動を続けながら拡大しています。

回転する中で、その水素元素も自転しながら磁気を帯び、融合してより質量の高い元素に生まれ変わって行きます。

それらの質量の高い元素同士が引き合い、やがて原始地球が創造されて行きました。

巨大な重力や引力、回転エネルギーの作用で、地球は地表を被う二酸化ケイ素の土や岩石の他に、より質量の高い鉄やニッケル等の重金属へと進化し、やがて火の神と呼ばれるウランウム元素が誕生しました。

宇宙空間にはこうした活動をさせている宇宙エネルギーが存在しています。

銀河の渦巻き、太陽の回りを惑星を公転させたり、地球を自転させるエネルギーには、飛ばそうとする電氣的なエネルギーと、引寄せようとする引力と呼ばれる磁気エネルギーが作用して、バランスを保たせています。

地球の密度が高度に達した時、そこにはより強力なこうしたエネルギーが生まれ、大気中の水素や炭素や酸素等の元素を有機結合させるまでになります。

やがて、樹木の誕生を持ってそれは極まり、有機的機能を持った人間の肉体を誕生させるまでになりました。

このエネルギーは宇宙を回転させる巨大な電磁気エネルギーから、人体のミクロの細胞内原子や心臓や肺を絶え間なく活動させている微量な電磁気エネルギーまで多岐に渡っています。

一般の動力や照明に使われる電磁気エネルギーを【電磁波】と呼んでいます。

そして、高性能で超エコシステムに造られた人体を活動させている電磁気エネルギーを【生体電磁気エネルギー】と言います。

細胞を構成している一億分の一センチと言われる原子も、内部ではプラスイオンの陽子と中性子が核融合によって原子核を構成し、その原子核の回りをマイナス

イオンの電子が回転しながら存在しています。
やはりここにも微量な電気エネルギーと磁気エネルギーが作用して超高速回転しています。

こうした原子が何十兆と集まって百分の一～二ミリの細胞を構成しています。
また細胞の中には、細胞核を始め遺伝子や沢山の有機体が存在しています。

この二重螺旋のDNAの中にも、一方には生体電気エネルギーが流れ、もう一方には反対方向から生体磁気エネルギーが流れ、DNA内をスパークしながら生命活動のバイブレーションを生み出して、細胞一つ一つを生命体として存在させています。

この細胞が、心臓を始めとする各内臓諸器官や骨格から筋肉、そして神経や血液まで人体のあらゆる部分を造り上げています。

全ての内臓諸器官を絶え間なく活動させている生体電気エネルギーは、背柱を通して各内臓諸器官に送られています。

この際、大気内に存在する生体電気エネルギーは脳天から背柱を左回転しながら降りて大地に入ります。

一方の大地から発生している生体磁気エネルギーは尾てい骨から入り、右回転しながら脳天に抜けていきます。

この生体電磁気エネルギーが自律神経を伝わり心臓を動かし、呼吸を司っています。

生体電気エネルギーが血液を送り出すと、生体磁気エネルギーが心臓に呼び戻します。

息を吐き出す力と吸い込む力も常にこうした陰陽のバランスで成り立っています。

従って、背筋がピンと姿勢良く張っているときに最もエネルギーが入りやすく健康的です。

エネルギーの低いときは背中が丸まっています。

樹木も、こうした仕組みで天地の自然生命エネルギーである生体電磁気エネルギーの働きによって生命活動し成長しています。

常に直立不動で高い霊性を持つ針葉樹の大樹は数百年から数千年生き続けます。

■あらゆる地上の生命は、こうして天地の自然生命エネルギーの恵みを受けて生かされています。

樹木と違って人間や動物は、絶えず水や食糧を自分で確保しなくてはならず、常に危険や争い等の緊張やストレス状態に置かれているため、疲れや病に陥り易く寿命も短いのです。

■現在では自然破壊と環境汚染によって生活空間からこうした生体電磁気エネルギー等の自然生命エネルギーが損なわれて来ているため、生命力や免疫力が低下し、多くの生命体が絶滅の危険にさらされ、人類も健康や生活、社会活動が混乱状態に陥っています。

人間の持つ生命力、感情力、決断行動力、そして創造力や直感力、感性や精神性等の各能力を造り出すチャクラのエネルギーラインも、この生体電磁気エネルギーの量によって決まります。

さらには、人間の肉体や感情、精神や魂意識のエネルギー量を現すオーラも、やはりこの生体電磁気エネルギーの量によって決まるのです。

したがって、自然生命エネルギーの枯渇した空間でのヨガや瞑想によるチャクラやオーラの向上には限界があります。

■こうした人間の生命の仕組みと自然生命エネルギーの原理を応用したものが、世界 10ヶ国の特許を取得した癒しの住まい【生体活性化住宅】であり、さらに集中強化させたものが【生命磁場強化装置(低温遠赤外線サウナ)】や、生体電磁気エネルギーを共振増幅させている大黒柱と生命磁場強化装置を融合させた【生命磁場共鳴装置】、そして家庭向けの【岩盤浴特別強化ベッド】や【えびす柱電磁気融合エネルギーシステム】です。

生命エネルギーの枯渇した生活空間に、強力な生体電磁気エネルギーや遠赤外線自然生命エネルギー磁場をつくり、低下した生命力や免疫力を回復向上させるシステムなのです。

生命力や免疫力の向上が病気や癌を寄せ付けず、豊かな心と、閃きや創造力に溢れた積極的な人生をつくるのです。

努力だけでは人間の本質は機能されず開花しません。